資料２

（案）

～未来の学校プロジェクト～

地域対話が始まります！

資料

茅野市教育委員会事務局

令和６年　月

【目　　次】

１　茅野市の現状

（１）市内全体の人口推移について

（２）小学校児童数の推移について

（３）学校施設及び運営費の状況について

２　国・県の基準

（１）学校規模について

（２）教職員配置について

３　これからの学校のあり方に係わる素案検討委員会で寄せられた意見

（１）　学校の再編について

（２）　地域対話について

（３）　通学について

（４）　通学区について

（５）　子どもへの配慮について

（６）　学校の規模について

（７）　地域との関わりについて

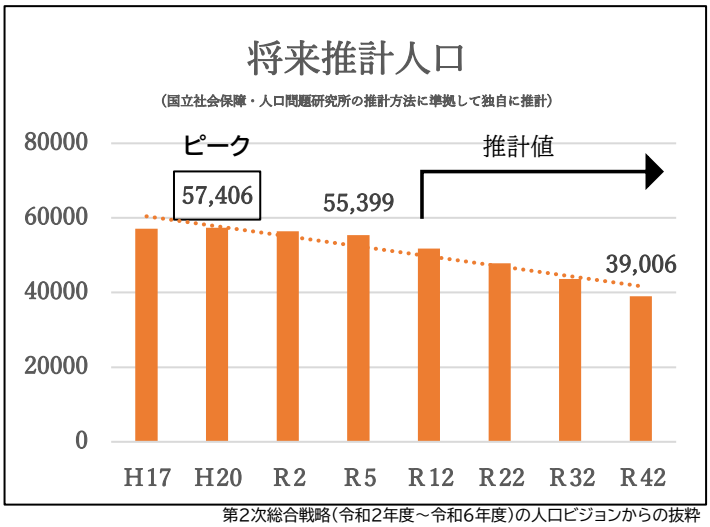
（８）　財政面について

（９）　保育園・中学校の連携について

1　茅野市の現状

（１）市内全体の人口推移について

全国的に人口減少と少子高齢化が進み、茅野市の人口は平成 20 年をピーク（約 57,400 人）に減少に転じています。また、茅野市の将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所の推計方法に準拠して独自に推計）によると令和 42 年には約 39,000 人となり令和５年の推計人口約 55,400 人と比較して約 30%減少する見込みです。



第2次総合戦略（令和2年度～令和6年度）の人口ビジョンからの抜粋

（２）小学校児童数の推移について

児童生徒数においても減少し続け、市内児童数の推移（住民登録者を基に独自に推計）から、令和 12 年度には、令和 6 年度と比べ市内全体で約 680 人、24.6%児童が減る見込みです。

市内児童数の推移

R6.10.1時点

	R06 (2024)		R07 (2025)		R08 (2026)		R09 (2027)		R10 (2028)		R11 (2029)		R12 (2030)		R12とR6の対比	
	児童数(人)	学級数	児童数(人)	学級数	児童数(人)	学級数	児童数(人)	学級数	児童数(人)	学級数	児童数(人)	学級数	児童数(人)	学級数	児童数(人)	減少率(%)
永明小	523	18	486	17	485	17	444	16	431	16	439	16	425	15	-98	-18.7
宮川小	668	22	661	22	630	21	592	20	583	19	531	17	506	17	-162	-24.3
米沢小	238	10	229	10	228	10	220	10	213	9	202	8	175	7	-63	-26.5
豊平小	212	9	205	8	203	8	188	7	188	7	176	7	178	8	-34	-16.0
玉川小	647	23	622	22	596	21	565	20	532	19	524	18	479	17	-168	-26
泉野小	83	6	71	6	69	6	64	6	58	6	58	6	52	6	-31	-37.3
金沢小	100	6	94	6	83	6	74	6	71	6	69	6	61	6	-39	-39.0
湖東小	194	8	186	7	175	7	176	7	160	6	156	6	154	6	-40	-20.6
北山小	117	6	108	6	105	6	89	6	88	6	71	6	67	6	-50	-42.7
合計	2,782	108	2,662	104	2,574	102	2,412	98	2,324	94	2,226	90	2,097	88	-685	-24.6

児童生徒数の推移

R6.10.1時点

学校	年度	R06（2024）			R07（2025）			R08（2026）			R09（2027）			R10（2028）			R11（2029）			R12（2030）		
	学年	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数
永明小	小１	35	45	3	34	33	2	37	40	3	30	24	2	39	43	3	45	34	3	37	29	2
	小２	42	29	3	35	45	3	34	33	2	37	40	3	30	24	2	39	43	3	45	34	3
	小３	54	41	3	42	29	3	35	45	3	34	33	2	37	40	3	30	24	2	39	43	3
	小４	42	53	3	54	41	3	42	29	3	35	45	3	34	33	2	37	40	3	30	24	2
	小５	37	41	3	42	53	3	54	41	3	42	29	3	35	45	3	34	33	2	37	40	3
	小６	54	50	3	37	41	3	42	53	3	54	41	3	42	29	3	35	45	3	34	33	2
宮川小	小１	50	50	3	54	40	3	49	50	3	44	39	3	50	48	3	30	27	2	36	39	3
	小２	56	53	4	50	50	3	54	40	3	49	50	3	44	39	3	50	48	3	30	27	2
	小３	53	54	4	56	53	4	50	50	3	54	40	3	49	50	3	44	39	3	50	48	3
	小４	67	54	4	53	54	4	56	53	4	50	50	3	54	40	3	49	50	3	44	39	3
	小５	66	64	4	67	54	4	53	54	4	56	53	4	50	50	3	54	40	3	49	50	3
	小６	52	49	3	66	64	4	67	54	4	53	54	4	56	53	4	50	50	3	54	40	3
米沢小	小１	27	21	2	13	12	1	22	17	2	19	8	1	13	21	1	14	15	1	8	13	1
	小２	23	17	2	27	21	2	13	12	1	22	17	2	19	8	1	13	21	1	14	15	1
	小３	22	19	2	23	17	2	27	21	2	13	12	1	22	17	2	19	8	1	13	21	1
	小４	18	17	1	22	19	2	23	17	2	27	21	2	13	12	1	22	17	2	19	8	1
	小５	21	19	2	18	17	1	22	19	2	23	17	2	27	21	2	13	12	1	22	17	2
	小６	16	18	1	21	19	2	18	17	1	22	19	2	23	17	2	27	21	2	13	12	1
豊平小	小１	13	21	1	13	20	1	13	13	1	12	14	1	20	16	2	12	9	1	18	18	2
	小２	12	21	1	13	21	1	13	20	1	13	13	1	12	14	1	20	16	2	12	9	1
	小３	20	16	2	12	21	1	13	21	1	13	20	1	13	13	1	12	14	1	20	16	2
	小４	19	22	2	20	16	2	12	21	1	13	21	1	13	20	1	13	13	1	12	14	1
	小５	15	13	1	19	22	2	20	16	2	12	21	1	13	21	1	13	20	1	13	13	1
	小６	19	21	2	15	13	1	19	22	2	20	16	2	12	21	1	13	21	1	13	20	1
玉川小	小１	63	55	4	37	49	3	43	48	3	43	40	3	31	46	3	39	30	2	41	32	3
	小２	42	35	3	63	55	4	37	49	3	43	48	3	43	40	3	31	46	3	39	30	2
	小３	54	56	4	42	35	3	63	55	4	37	49	3	43	48	3	43	40	3	31	46	3
	小４	55	59	4	54	56	4	42	35	3	63	55	4	37	49	3	43	48	3	43	40	3
	小５	52	65	4	55	59	4	54	56	4	42	35	3	63	55	4	37	49	3	43	48	3
	小６	48	63	4	52	65	4	55	59	4	54	56	4	42	35	3	63	55	4	37	49	3

児童生徒数の推移

R6.10.1時点

学校	年度	R06（2024）			R07（2025）			R08（2026）			R09（2027）			R10（2028）			R11（2029）			R12（2030）		
	学年	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数	男	女	学級数
泉野小	小１	7	4	1	8	1	1	4	7	1	5	6	1	2	5	1	4	5	1	2	3	1
	小２	7	2	1	7	4	1	8	1	1	4	7	1	5	6	1	2	5	1	4	5	1
	小３	7	6	1	7	2	1	7	4	1	8	1	1	4	7	1	5	6	1	2	5	1
	小４	9	7	1	7	6	1	7	2	1	7	4	1	8	1	1	4	7	1	5	6	1
	小５	6	7	1	9	7	1	7	6	1	7	2	1	7	4	1	8	1	1	4	7	1
	小６	11	10	1	6	7	1	9	7	1	7	6	1	7	2	1	7	4	1	8	1	1
金沢小	小１	6	9	1	6	7	1	5	6	1	2	8	1	4	7	1	3	6	1	1	6	1
	小２	8	3	1	6	9	1	6	7	1	5	6	1	2	8	1	4	7	1	3	6	1
	小３	6	8	1	8	3	1	6	9	1	6	7	1	5	6	1	2	8	1	4	7	1
	小４	12	7	1	6	8	1	8	3	1	6	9	1	6	7	1	5	6	1	2	8	1
	小５	13	9	1	12	7	1	6	8	1	8	3	1	6	9	1	6	7	1	5	6	1
	小６	11	8	1	13	9	1	12	7	1	6	8	1	8	3	1	6	9	1	6	7	1
湖東小	小１	10	10	1	14	18	1	10	12	1	17	15	1	12	10	1	18	10	1	10	8	1
	小２	19	13	1	10	10	1	14	18	1	10	12	1	17	15	1	12	10	1	18	10	1
	小３	25	13	2	19	13	1	10	10	1	14	18	1	10	12	1	17	15	1	12	10	1
	小４	17	14	1	25	13	2	19	13	1	10	10	1	14	18	1	10	12	1	17	15	1
	小５	19	14	1	17	14	1	25	13	2	19	13	1	10	10	1	14	18	1	10	12	1
	小６	27	13	2	19	14	1	17	14	1	25	13	2	19	13	1	10	10	1	14	18	1
北山小	小１	3	8	1	8	7	1	9	8	1	6	2	1	6	7	1	3	4	1	5	2	1
	小２	10	14	1	3	8	1	8	7	1	9	8	1	6	2	1	6	7	1	3	4	1
	小３	8	6	1	10	14	1	3	8	1	8	7	1	9	8	1	6	2	1	6	7	1
	小４	12	12	1	8	6	1	10	14	1	3	8	1	8	7	1	9	8	1	6	2	1
	小５	14	6	1	12	12	1	8	6	1	10	14	1	3	8	1	8	7	1	9	8	1
	小６	15	9	1	14	6	1	12	12	1	8	6	1	10	14	1	3	8	1	8	7	1
合計	小１	214	223	17	187	187	14	192	201	16	178	156	14	177	203	16	168	140	13	158	150	15
	小２	219	187	17	214	223	17	187	187	14	192	201	16	178	156	14	177	203	16	168	140	13
	小３	249	219	20	219	187	17	214	223	17	187	187	14	192	201	16	178	156	14	177	203	16
	小４	251	245	18	249	219	20	219	187	17	214	223	17	187	187	14	192	201	16	178	156	14
	小５	243	238	18	251	245	18	249	219	20	219	187	17	214	223	17	187	187	14	192	201	16
	小６	253	241	18	243	238	18	251	245	18	249	219	20	219	187	17	214	223	17	187	187	14

（３）学校施設及び運営費の状況について

茅野市保有施設の延べ床面積のうち、小中学校について約 33%、8 万 3000 ㎡と大きな割合を占め、昭和 50 年から昭和 60 年にかけ一斉に建設され老朽化が進んでいます。

現在の学校を50年周期で建て替えた場合

学校名	年 / 建築年	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)	R19 (2037)
永明小学校	R6(2024)													
宮川小学校	S51(1976)		■	■	■									
米沢小学校	S56(1981)							■	■	■				
豊平小学校	S58(1983)									■	■	■		
玉川小学校	S54(1979)					■	■	■						
泉野小学校	S57(1982)								■	■	■			
金沢小学校	S55(1980)						■	■	■					
湖東小学校	S57(1982)								■	■	■			
北山小学校	S60(1985)											■	■	■

建替え時期は、第1次茅野市小中学校管理計画からの抜粋。色が付いている部分が建て替え時期となります。

また装置及び大規模工事については、公共施設管理計画や第一次茅野市小中学校管理計画に基づき持続的かつ計画的に施設整備・学校維持を行っています。令和 4 年度決算では、 9 小学校のランニングコストは、約 2 億 9500 万円。大規模整備工事は約 1 億 3800 万円。年間 3 億円から 4 億円を学校運営費として使っています。

学 校 運 営 費 に つ い て （R4決算ベース）

【ランニングコスト】 ･･･①　　（単位：円）

項目 / 学校名	光熱水費	施設維持管理費	給食調理員委託料	人件費	通学費補助金	スクールバス経費	合 計
永明小学校	16,239,967	2,453,113	19,086,306	5,866,773	111,409	0	43,757,568
宮川小学校	17,821,214	4,731,647	25,448,408	4,318,408	846,473	0	53,166,150
米沢小学校	8,104,204	3,985,747	9,543,153	2,494,389	0	0	24,127,493
豊平小学校	7,753,964	3,515,699	9,543,153	2,494,389	3,711	0	23,310,916
玉川小学校	17,377,557	7,994,722	22,267,357	4,318,408	70,307	0	52,028,351
泉野小学校	8,117,141	3,650,982	6,362,102	2,494,389	23,298	0	20,647,912
金沢小学校	7,980,258	7,704,441	6,362,102	5,304,379	12,684	0	27,363,864
湖東小学校	7,713,752	2,865,195	9,543,153	2,494,389	0	5,132,160	27,748,649
北山小学校	6,343,834	3,144,588	6,362,102	5,304,379	2,062,540	0	23,217,443
合 計	97,451,891	40,046,134	114,517,836	35,089,903	3,130,422	5,132,160	**295,368,346**

【大規模整備工事】 ･･･②　　（単位：円）

工 事 名	金 額	工 事 名	金 額
防水修繕工事	57,607,000	プール設備更新工事	4,345,000
照明改修工事	30,580,000	校内放送設備更新工事	3,850,000
高圧受電設備更新工事	11,373,000	給食室改修工事	3,608,000
外装修繕工事	7,963,800	地下オイルタンク修繕工事	2,695,000
内装修繕工事	6,600,000	校内電話更新工事	2,266,000
ボイラー修繕工事	5,236,000	空調設備設置工事	2,090,000

①【ランニングコスト】	295,368,346円
②【大規模整備工事】	138,213,800円

①＋② 学校運営費 合計	433,582,146円

2　国・県の基準

（1）学校規模について

➢　学校規模（学校教育法施行規則第 41 条及び第 79 条）

≪国基準≫

国は、次の小中学校の学級数を基準としています。ただし、地域の実態その他により特別の事情がある時は、この限りではないとしています。

小学校基準学級数　　12～18 学級

中学校基準学級数　　12～18 学級

➢　学級編成（公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律第３条）

国は、１学級の児童生徒数を基準として、都道府県教育委員会が定めることとしています。

≪県基準≫

	１学級の人数
通常学級	３５人以下
複式学級※1	８人以下

※1　引き続く 2 の学年の児童生徒数の合計が上記基準以下の場合、複式学級を編成する

（2）教職員配置について

➢　小学校職員配置

≪県基準≫

学級数	校長	教頭	担任	専科※2	合計
1～５学級	１名	１名	１学級１名	―	3～7 名
6～13 学級	１名	１名	１学級１名	１名	9～16 名
14～25 学級	１名	１名	１学級１名	２名	18～29 名
26 学級～	１名	１名	１学級１名	３名	31 名～

※2　専科指導教員のことで、担任以外で特定科目の授業をする教員のこと。小学校では、主に音楽や理科の専科指導教員の配置となることが多い。

※　県の判断により加配がつく場合がある。

3　これからの学校のあり方に係わる素案検討委員会で寄せられた意見

（１）　学校の再編について

・再編はやむを得ない。再編の進み方も含めて情報を早く。
・できるだけ早急に進めてほしい。
・新しい仕組みを作るチャンス。
・反対意見もあるが、反対という選択肢はないことを前提にしないといけないのでは。
・一斉に再編を行うのは無理だと思う。（段階的な再編）
・歴史や文化は大切だか、ほかの方法も考えられるのでは。
・子どもの未来を一番に考えるべき。
・再編の理解を深めてほしい。
・学校再編について全く知らない若い親世代がいるのが気になる
・学校の再編を知ったら茅野市に住まなくなる。
・再編のメリット、デメリット明確にしてほしい。

（２）　地域対話について

・色々な立場の方、色々な場での話合いを持つことが必要。
・担保されるべきものが担保されれば、大多数の方は納得するのでは。その上で細かい意見を聞いていけばよい。
・再編の期間が決まれば自分事になる人が増える。

（３）　通学について

・スクールバス経費は？
・スクールバスなどの通学方法が課題、心配。通学手段が心配。
・通学方法、時間や安全性、通学路として管理できるか。
・通学時間が長くなること、通学路が危ない感じるところがあり心配。
・スクールバス、発着場所の位置を適切に。

（４）　通学区について

・学校の再編だけでなく、通学区の見直しもこの際した方が良いような気がする。
・選べる学校（自由選択）は、自分の行きたい学校へ行けるが、学校側は大変。

（５）　子どもへの配慮について

・大人だけではなく、こどもともしっかり話して決めていきたい。
・児童のための再編。

・子ども達はどう考えているか。デスカッションをしたらどうか。
・再編して新しい学校になり、子どもが新しい環境に慣れるのか心配。

（６）　学校の規模について

・子どもが少なくなった以上統廃合は仕方ない。
・都会の子供と同じ環境に近いと考えればクラスの人数が増えるのは当然だと思う。
・1 学年複数学級があることが望ましい。
・ある適度規模の中で学ばせたい。
・多様な考えや行動の中で育つ子ども。
・集団で生活する大切さ。
・子どもが少なくなり友達づくりが心配。
・クラス替えが出来るように最低でも 2 クラスは必要か。
・学び　大きいからいいのか、小さいからいいのか。

（７）　地域との関わりについて

・地域の方との交流は続けていきたい。
・地域ぐるみの子育て大事。
・学校と地域の連携が「より充実していく」という視点は大切にしたい。
・保護者が見えていないところもある。地域の声、協力も必要。
・地域で議論したり話し合ったりすることが無くなってきているように思う。
・地域との関係性が薄くなるのが課題。
・地区・地域コミュニティーの見直し

（８）　財政面について

・教育の費用対効果を示すことの難しさ。
・財政面から学校再編を考えた方が良い。

（９）　保育園・中学校の連携について

・再編するなら、中学校との連携スムーズに。
・保育園との関わり。